

④ めまた 市議会だより

第70号
5月臨時会
6月定例会
令和5年
8月1日



沼田市議会議員選挙を経て
18人の議員が誕生しました

内容

令和5年度予算
6月定例会 など



沼田市議会HP

中村議長の下 沼田市議会新体制へ！

5月9日及び10日に臨時会が開かれ、正副議長の選挙や常任委員等の選任のほか、監査委員の選任、各一部事務組合議会議員の選挙等が行われました。

正副議長選挙では、議長に中村浩二議員、

副議長に井上弘議員が選出されました。中村議長、井上副議長ともに3期目です。

新体制、新しい委員構成で沼田市議会がスタートしました。

議長就任のあいさつ



井上弘副議長

中村浩二議長

このたび多くのご推挙をいただき、栄えある沼田市議会議長に就任いたしました。身に余る光栄と存じますとともに、その重責に身が引き締まる思いでございます。

市議会は、行政への監視機能を果たし、公正・公平な議会運営に努めるとともに、市民の皆さまの負託に応えるため、市政の充実と発展、住民福祉の向上に向けて邁進していくことが求められます。また、本市が抱えるさまざまな課題の解決に向けて、市民の皆さまの声をしっかりと預かりし、大切な思いを実現していかねければなりません。

市政の変革期において二代表制の一翼としての役割を与えていただいたことにやりがいと誇りを持ち、今回当選の栄を賜りました18名の議員、総力を挙げて市政発展に取り組んでまいりたいと考えていると存じます。

結びにあたり、私は議長として市議会が持つ力を十分発揮できるよう、副議長とともに全力を尽くしてまいります。市民の皆様におかれましては、市議会に対し、より一層のご理解とご協力を賜りたくお願い申し上げます。

総務文教常任委員会

委員長 桑原敏彦
副委員長 小野塚正樹

所管事項 総務部・教育委員会の所管に属する事項



中村浩二議員

高柳勝巳議員

桑原敏彦議員

小野塚正樹議員

大島崇行議員

今成敦子議員

1期 無党派
初心を忘れないと言ったことを忘れません。市民目線の沼田市にしたいから。

6期 新政未来沼田
安全安心な教育環境の実現。利根沼田のシンボルをつくりあげ、元氣な沼田の実現へ

2期 沼田創生会
夢を実現する。
挑戦することを恐れない。
スピード感を大切にします。

3期 沼田創生会
沼田市の活性化と、高齢者が安心して暮らせる地域づくりを目指します。

6期 無党派
原点に立ち帰り困っている「事」「場所」「人」からの視点で課題解決を目指します。

3期 沼田創生会
市民福祉の向上と沼田市発展のため、議員活動に全力で取り組んでまいります！

民生福祉常任委員会

委員長 茂木清七
副委員長 星野妙子

所管事項 市民部・健康福祉部の所管に属する事項



井上弘議員

戸部博議員

茂木清七議員

星野妙子議員

鈴木誠議員

齋藤育子議員

1期 沼田創生会
笑顔あふれる沼田の実現に向けて、皆さまの思いが実るまちを築きましょう！

1期 無会派
将来をしっかりと見据え責任ある市政に全力で取り組んでまいります。

3期 無会派
市民皆さまが中心、希望の持てる沼田実現に向けて「声」を届け取組めます。

3期 新政未来沼田
市民の健康と幸せに貢献し、今できることに全力で取り組んでまいります。

3期 沼田創生会
市民の皆さまの意見や小さな声が、市政に反映できるよう努力してまいります。

3期 無会派
今後の沼田を担う若い世代が「住みたくなる沼田」実現に向け頑張ります。

経済建設常任委員会

委員長 山宮敏夫
副委員長 大東宣之

所管事項 経済部・都市建設部の所管に属する事項



相澤宗利議員

野村洋一議員

山宮敏夫議員

大東宣之議員

木内修一議員

齋藤智議員

1期 無会派
子どもたち孫の世代のためにより良い沼田を残していきます。

1期 沼田創生会
大好きな沼田市を未来へ繋いでいくために、市民、行政とともに力を合わせます。

10期 無会派
市政に皆さまの声を真つすぐ届け、安心して暮らせるまちづくりに取組めます。

2期 新政未来沼田
伝統文化を継承し、デジタルを活用し健康で住みやすいまちづくりを目指します。

4期 無会派
超高齢化社会に対応できるまちづくりを目指し議員活動に尽力してまいります。

1期 沼田創生会
生まれ育った沼田市のために、若い力で一生懸命、地域を走り続けます。

議会運営委員会

委員長	野村 洋一	議員
副委員長	高柳 勝巳	議員
委員	山宮 敏夫	議員
委員	木内 修一	議員
委員	小野塚正樹	議員
委員	大東 宣之	議員
委員	茂木 清七	議員
委員	桑原 敏彦	議員

議会だより編集委員会

委員長	星野 妙子	議員
副委員長	小野塚正樹	議員
副委員長	鈴木 誠	議員
委員	齋藤 智	議員
委員	今成 敦子	議員
委員	山宮 敏夫	議員
委員	高柳 勝巳	議員
委員	齋藤 育子	議員
委員	相澤 宗利	議員
委員	大東 宣之	議員
委員	井上 弘	議員

※各議員の情報は沼田市議会ホームページをご覧ください。



6月 定例会

5月9・10日に選挙後初の臨時会が行われ、正副議長の選挙や常任委員等の選任、一部事務組合議会議員の選挙のほか、報告、条例の改正、人事の同意など計15件を審議しました。
6月定例会は、6月6日に開会し、令和5年度補正予算、条例の改正、人事の同意など計14件を審議、8人の議員が一般質問を行い、市当局と活発な議論を展開しました。

5月臨時会

令和5年度補正予算

国が実施する「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金」の支給に必要な経費、4,999万5,000円を追加しました。

対象児童1人当たり5万円が給付されます。

児童扶養手当を受給されている方は申請の必要はありませんが、『公的年金等を受給していることで令和5年3月分の児童扶養手当を受給していない人』『食費等の物価高騰の影響で家計が急変し、収入が児童扶養手当受給者と同水準になっている人』は申請が必要です。

詳しくは、健康福祉部子ども課子育て支援係にご相談ください。(電話2312111内線3121、3123)

6月定例会

令和5年度補正予算

新型コロナウイルスワクチン接種事業や、特別な理由により緊急に対応する必要があるものなどに限定し、8億3,774万2,000円を追加しました。

主な内容は、住民自治振興事業における各地区の施設整備に対する補助金及び助成金の追加、利根支所庁舎管理費における監理委託料及び建築工事の追加、新型コロナウイルスワクチン接種委託料の追加、母子保健相談指導事業における初回産科受診料助成金の追加、沼田まつり負担金の追加、沼田まつり負担



4年ぶりの開催が決まった沼田まつり

担金の追加、電子地域通貨業務委託料の追加、自治総合センターコミュニティ助成金の追加などです。

ぬまた東保育園を北毛清流会に無償譲渡

ぬまた東保育園が、令和5年3月31日に閉園となりましたが、建物と物置を隣地の障害福祉サービスマス事業所と一体的に活用するため、障害福祉サービスマス事業所を運営している社会福祉法人北毛清流会に無償で譲渡することになりました。

今後は、児童発達支援センターとして活用される予定です。



旧ぬまた東保育園 園舎

(仮称)平川小水力発電所 工期を1年間延長

再生可能エネルギー導入の環境として、本市の特性である豊

富な水を利用した小水力発電施設を令和2年度より利根町平川地内に整備してきました。

令和5年12月から売電を行う予定でしたが、水利権の調整に時間がかかり、工事に着手できなかったなどの理由により工期が1年間延期になりました。



発電施設整備工事の様子

群馬テレビデータ放送を利用した議会日程のお知らせ

群馬テレビのデータ放送で市政情報を表示できます。データ放送表示画面から『沼田市からのお知らせ』に進むと議会日程を確認できます。

議会開会のおおむね1週間前にデータを更新します。一般質問の日程などを掲載しますのでぜひご覧ください。

人事案件

農業委員会委員

15名の任命について同意しました。

国に2件の意見書を提出

子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を求める意見書（抜粋）

小学校では、コロナ禍を受けて全学年での少人数学級化が順次実施されており、公立小学校の学級あたりの平均児童数はすでに22・7人になっている。一方で、小学生よりも幼い乳幼児が長時間生活する保育所等の4・5歳児の配置基準が、基準制定以来70年以上一度も見直されていないことは由々しき事態と言わざるを得ない。

今年の4月に「子ども家庭庁」が設置された。政府はこれまで以上に子ども関連施策の充実・推進をめざし、予算も倍増するとしている。いまこそ保育関係予算を大幅に増やし、保育士配置基準の引き上げによる保育士増員、処遇の改善を国の責任ですすめるべきである。

国におかれては、必要な財源を確保し、下記の事項について実現されるよう、強く要望する。

- 1 子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を図るよう。

- 2 公定価格を引き上げ、保育士等の処遇改善を図ること。



凍霜被害を受けた果樹農家への現実的な経済的支援と営農継続負担軽減ならびに産地保持の為の助成を求める意見書（抜粋）

4月の低温・降霜・凍結の被害により、過去に例を見ない甚大な被害を受けており大幅な収穫量減および収入減が見込まれます。

この度の被害状況を十分に考慮していただき、経営継続資金対策として特別な給付金による救済、低金利で長期返済可能な融資制度の充実、果樹共済・収入保険加入基準の緩和及び見直しと加入推進、現代及び未来の気象状況を考慮した「作り続け

られる農業」に向け栽培管理指導及び営農指導の強化等を、果樹生産者一同の総意とし、被害を受けた農家に対しまして特段のご配慮とご支援を賜りたく、国、県に対して意見書を提出いたします。

- 1 被害に応じた見舞金等の支援給付金による現実的救済
- 2 被害時に備える為、掛金の負担軽減を講じた農業共済の推進

- 3 被害を最小限に抑える為の助成事業の拡充（支援を拡充し生産量を確保して行く為の助成）



凍霜により被害を受けたリンゴの花芽

会 派 名	人数	交付額	支出額	戻入額
日本共産党沼田市議団	2人	240,000円	251,638円	0円
新政同志会 ※5/13まで6人	5人	610,000円	275,000円	335,000円
沼田創生会 ※10/20まで6人	7人	770,000円	397,904円	372,096円
藤井美和子（会派外議員）	1人	110,000円	59,528円	50,472円
金子浩隆（会派外議員）	1人	120,000円	145,519円	0円
高柳勝巳（会派外議員）	1人	未申請		
井上 弘（会派外議員）	1人	120,000円	73,353円	46,647円
野村洋一（会派外議員）	1人	未申請		
小野塚正樹（会派外議員）	1人	80,000円	77,328円	2,672円

※ホームページで会派別に支出明細、領収書写、視察報告等を公開しています。

令和4年度
政務活動費収支報告
（令和4年4月1日～
令和5年3月31日）

一般質問

沼田の農業活性化と今後の沼田市

茂木 清七



Q 4月の遅霜の被害について沼田市の対応はどのように進めるのか伺います。

A 「沼田市農漁業災害対策特別措置条例」に基づいて、農作物の減収量が平年の30%以上の被害の場合、農家に対して病害虫防除に要する費用の助成を予定しています。

Q 鳥獣害防護柵のフェンスの延長について伺います。

A 国や県の補助事業を活用し5万7,431mの防護柵が完了しています。池田地区、多那地区、川田地区では上川田町からも要望が提出されています。

Q 旧サラダパークぬまたの優先交渉権者が決定したが、その後の状況について伺います。

A 本年1月に(有)星の降る森に決定しましたが、池田地区で2回の住民説明会を開催し、現時点では事業化を判断するに至っていないと考えています。

Q 利根町の庁舎解体に伴い、新設される庁舎の今後の利活用に

ついて伺います。

A 利根支所と利根地区コミュニティセンターを統合した、新たな「利根地区コミュニティセンター」として住民自治の推進や地域住民の福祉、生涯学習などの利活用を進めていきます。

Q 沼田市の簡易水道の今後について伺います。

A 経営統合を進めていく上で、地元組合との合意形成が不可欠であり、地元組合と協議を行い、持続可能な環境に向けた取組に努めたいと考えています。

Q 横塚工場適地の企業誘致と今後の計画について伺います。

A 4月26日付けで県企業管理者宛てに、事業化についての要望書を提出し、県企業局による事業化の決定を目指し、手続きや協議を進めたいと考えています。



遅霜による被害の様子

中心市街地の景観の整備を

小野塚 正樹



Q 沼田の顔がどういふ景観になるのかお聞かせください。

A 「中心市街地活性化の会」が策定した申し合わせ事項「ゆるやかな和」を基本的な建物外観などのイメージとし、事業を進めている状況です。

Q 観光客を増やすことを目的とした中心市街地の景観の整備について伺います。

A 「大正ロマン」をコンセプトに整備を行っており、庁内関係課、観光協会等と連携の上、ソフト事業についても進めているところです。



真田と大正ロマンに調和する中心市街地デザイン

Q 横塚工場適地のインフラ準備について伺います。

Q 企業誘致に向けた工業インフラの準備について市長のお考え

をお聞かせください。

A 企業の立地に必要な電力やガス、水道、排水などのインフラは非常に重要であると認識しています。

横塚工場適地における企業誘致が実現するよう関係機関と協議を行いながらインフラの整備計画について、検討していきたいと考えています。

Q 移住者の増加に向けた取組について伺います。

A リモートによる相談の充実や移住コンシェルジュによるきめ細かい対応など、コロナ禍で停滞していた首都圏で開催される移住イベントなどに参加していきたいと考えています。

【その他質問】

滝坂の観光スポット化／食べあるき買物チケットを子どもたちに使ってもらう施策／移住希望者と地場産業のマッチング／滝坂の観光スポット化／上水道断水想定と緊急対応計画

新型コロナウイルスの対応

齋藤 智



安心感と笑顔あふれるコミュニティ実現へ

桑原 敏彦



【Q】新年度になり、マスク着用の考え方の見直しが行われました。生徒指導提要には、いじめや不登校への対応として、児童生徒の表情から変化や兆候を察知することも記されています。梅雨から夏の時期を迎えるにあたり、熱中症の心配もあります。マスクの着用をやめることも必要と考えます。小・中学校でのマスク着用について、どのように検討し対応するのか教育長に伺います。

【A】マスクの着用は身体に負担がかかり熱中症のリスクを高めることを、今一度、正しく理解し、予防に努められるよう指導していきます。また、これからは笑顔で、笑顔の溢れるコミュニケーションを楽しみ、意思疎通を深め合う関わりを重ねていけるよう支援していきたいと考えています。

【Q】児童生徒や教職員が心理的に抵抗なくマスクを外せるようになる取り組みについて教育長に伺います。

【A】教職員がまず自分で考え、場面に適した行動を選ぶこと、自分とは異なる判断に対して尊重することが、子供たちがマスクの着脱について自分で考え、安心して選べる雰囲気づくりにつながると考えます。



【高齢者が安心して暮らせる地域づくり】

【Q】遊休施設を活用した多世代交流の居場所づくりに向けて、2年後に廃園が決定している薄根幼稚園を高齢者と薄根学童クラブと一緒に過ごせる拠点とすることを提案します。

【A】現状では、高齢者と学童とが直接触れ合える場所は用意されておりませんが、研究を進めていきたいと考えています。

【Q】居場所(新たな地域コミュニティ)を活用した多世代交流食堂の開設について伺います。

【A】世代を越え、顔が見える関係づくりは重要であると認識しています。地域に寄り添っていきたいと考えています。

【Q】地域おこし協力隊制度を活用したコミュニティナースの受入れについて伺います。

【A】高齢化の進展を見据え、住民の健康づくり、地域のコミュニティづくりのために、住民組織等の育成に努めるとともに、先

進的な事例等の情報を収集し、研究したいと考えています。

【新しい地域コミュニティ】
【Q】コミュニティビジネスを見据えた買付物支援及び配食の一部有償ボランティアの取組について伺います。

【A】現在、有償ボランティアを活用した取組は行っていませんが、既存の事業や制度を支援・推進し、先進事例を参考に研究したいと考えています。

【Q】企業と連携した新たなコミュニティづくりの推進について伺います。

【A】どのように地域と企業が連携するかなどについて、地域と協働しながら研究を進めていきたいと考えています。



薄根地区における取組事例

市政を問う!!

一般質問

平和行政 会計年度任用職員の処遇改善

高柳 勝巳



◎沼田市では一昨年「原爆二世の樹」を前市長が譲り受け、利南運動公園の南側に植樹しました。また、同趣旨の願いを込めて新種交配された「陽光桜」も植えられました。

こうした経過も踏まえ、平和を希求し続ける自治体、市民の争いへの戒めを喚起し続ける自治体としてその誇りを名称に残し、「戦後80周年」を迎えたいと願いますが、市長の考え方を伺います。

▲運動公園内の南側、芝生多目的広場等には、「平和の心を育み、その心を大切にして思いを伝えていく」という願いを込め、恒久平和の象徴である陽光桜や、広島市・長崎市の被爆樹木二世の苗木を植樹しています。この樹木の成長は、本市の平和に対する思いの成長でもあり、木々の成長とともに、市民の平和に対する意識の醸成を図っていく考えです。

◎「伴走型支援」の具体的実施



利南運動公園の陽光桜

の内容、相談体制や訪問支援などの課題と今後の充実策をお聞かせください。また、会計年度任用職員の配置状況と処遇改善についてお聞きします。

▲会計年度任用職員数は323人です。その8割強が、福祉部門、教育部門に配置されており、保育士、ケアマネージャー、教育支援員などとして業務に従事しています。

処遇は、職務給の原則や均衡の原則を踏まえ、従事する職務の内容や責任の程度、同一または類似職種との給与水準、地域の実情等により決定しています。改善は、国家公務員、同一または類似職種の常勤職員、民間企業労働者等の給与改定状況を考慮しながら改善を図っています。

子育て世代、若い世代が住みたくなるまちへ

井上 弘



◎子育て世代、若い世代が住みたくなるまちづくりを進めることについてどのようにお考えか伺います。

▲本市は、少子高齢化が進み、人口も減少し続けています。その中で、子育て世代、若い世代の人口を維持・増加へつながるまちづくりは、極めて重要です。まずは、基盤となる雇用の創出、子育て支援の充実および住民主体のまちづくりを進めていきたいと考えています。

◎地域の活性化には行政の力だけではなく、住民の協力、やる気が何よりもかかせません。利根町住民の行政に対する感情をどのように把握されているか。またどのように対応していくのか伺います。

▲地域の座談会などを通してご意見を伺いながら、地域が文化や伝統を大切に、コミュニティを中心に力を合わせて地域課題を解決していく、市民が主体のまちづくりを目指し、地域

コミュニティの維持・活性化を図っていきたくと考えています。

◎現状の部活動に参加したくない生徒に対する受け皿となる活動はどうなっているか、教育長に伺います。

▲「生徒が参加しやすいような多様なレベルや、生徒の多様なニーズに応じた活動を行うことができる」部の設置が求められており、本市でも、絵を描いたり造形したりするなど、生徒の興味・関心に応じた、個別の課題に取り組める部を設置している中学校もあります。

多様な生徒の受け皿となる持続可能な活動を実現するため、生徒のニーズを踏まえた体制づくりについて、引き続き、研究していきたいと考えています。



市政を問う!!

高齢者福祉、土地画整理事業、平和行政

大東 宣之



Q第9期高齢者保健福祉計画の策定にどのように取り組んでいるのか伺います。

A市民の健康状態や日常生活の状況、社会福祉サービスの利用状況等を把握し、今後における各種施策の改善およびその展開、充実を図ることを目的として、「高齢者実態調査」を実施しています。

Q介護保険料についてどのように見込んでいるのか伺います。

A推計された介護給付費から、65歳以上の第1号被保険者の負担分を算出し、所得の分布状況の見通しを踏まえた被保険者数により算定することとなります。

Q補聴器購入の助成についてどのように取り組むのか伺います。

A引き続き、研究していきたいと考えています。

Q中心市街地土地画整理事業の進捗状況と今年度の事業はどのように進めるのか伺います。

A事業の進捗状況については、令和4年度末の総事業費ベース

で約62%で、現在進めている2街区及び4街区の建物等移転の完了後、須賀神社通りをはじめとする、区画道路の整備を進める予定です。

Q中心市街地活性化をどのように考えて進めるのか伺います。

A利便性の高い生活環境の整備を進め、市民が安全で快適に暮らし、まちの楽しさや歴史文化資源、自然環境などの魅力により、地域内外からも多くの人が集まり、交流する地域づくりを目指します。

Q平和行政の事業にどのように取り組むのか伺います。

A8月に「原爆・戦争遺跡パネル展」とともに「私の八月十五日」パネル展を同時開催し、「被爆体験伝承講話」

を8月15日に開催するなど、平和行政を推進します。



被曝二世木アオギリ

誰もが安心して暮らせるまちづくり

星野 妙子



Q利根町で発生した火災、住民への情報発信について伺います。

A今回の火災に限らず、市内で発生した火災について地域住民への情報発信は行っていません。

Q利根地区防災行政無線廃止後の整備進捗状況と住民への説明について伺います。

A防災行政無線の代替手段として緊急告知FMラジオやホットメールぬまた等の普及啓発を行っています。住民への説明については、区長会や市政懇談会等で地元の皆さまから意見を伺っています。

Q給食費無償化、今後の支援計画について伺います。

A子育て世代への支援については財源確保を含め研究していきたいと考えています。

Q利南東小学校通学路の安全対策と防災備品支援について教育長に伺います。

A自然災害の頻発化・甚大化を考えると危険個所の対応と安全確保を継続的に進め、防災備品は学

校と協議して最善の対応を検討していきたいと考えています。

Q経済的負担が多額な通学定期支援について教育長に伺います。

A経済的負担軽減が必要なことを認識しています。適切な支援について研究していきたいと考えています。

Q群馬県指定史跡となった「奈良古墳群」整備計画の進捗状況について教育長に伺います。

A令和5年3月に奈良古墳群保存活用計画を策定し、保存・管理活動に取り組んでいます。

Q利根町平川「不動滝」環境整備と支援について教育長に伺います。

A天然記念物の樹木は専門的管理・保護に努め、文化財管理の支援を行っています。



利根町平川古滝庵不動尊境内

行政調査

報告

沼田市議会では、沼田市のさまざまな問題解決に積極的に対応してまいります。
今回は、甚大な被害の凍霜害について現地調査を実施しました。

このたびの4月上旬から下旬の低温・降霜・凍結により被害を受けられた果樹園の皆さまには心よりお見舞い申し上げます。
沼田市では、被害面積89・9ha、918・3tの減収が見込まれています。

沼田市議会では、6月11日(日)に佐山地区・横塚地区において、関係機関および関係団体をお招きし、被害に遭われた果樹園の皆さまと意見交換ならび



意見交換の様子



現地視察の様子

に現地調査を実施しました。

- ・意見交換の中では、産地全体の危機である。
- ・今期の収入減に対する直接的支援をしてほしい。
- ・収入保険や農業共済は掛け金が高い。
- ・国や県の補助金の制約を取り払ってほしい。
- ・風評被害による客離れが心配。
- ・対策や支援制度などの勉強会を実施してほしい。

などの意見が出されました。
沼田市議会の対応としては、りんご組合などの関係団体からの請願を採択し国・県への意見を提出しました。また、経済建設常任委員会による沼田市への経済的支援の要望書を提出しました。
市議会は今後も本問題に取り組んでまいります。

- 1 被害総額 836,788 千円
- 2 農作物の被害状況
被害金額：836,070 千円（うち平年比30%以上減収は場の被害金額：796,186 千円）
被害面積：231.2 ha（うち平年比30%以上減収は場の被害面積：179.2 ha）

主な農作物別被害状況

作物名	被害金額（千円）	被害面積（ha）	被害市町村（被害金額順）
りんご	696,228	166.7	沼田市、みなかみ町、川場村、片島村、中之条町
おとうとう	112,523	18.7	沼田市、みなかみ町
もも	5,490	2.5	沼田市、みなかみ町
ブocking	5,415	0.5	前橋市
かき	4,815	2.1	みなかみ町、沼田市、澁川市
そば	3,948	17.1	沼田市
西洋なし	2,774	1.3	みなかみ町、沼田市
すもも	2,354	1.0	沼田市、みなかみ町

群馬県公表の被害状況

次回定例会の日程

次回定例会は、8月30日(水)からの予定です。
インターネット中継も行っています。



編集後記

改選後、初めての議会だより発行となりました。

これまで、諸先輩方が作り上げてきた議会だよりには、たくさんの方が思いが込められ、新人議員として皆さまにお届けする立場となりました。今、感慨深いものがあります。

本市では、4月に深刻な凍霜害が起こりました。特にりんご、サクランボ等、果樹の被害は大きく、沼田市の第1次産業、そして、観光産業を支える果樹農家様のご心痛は計り知れません。

市当局はもとより、国や県と連携し、対応を進めていますが、一刻も早い復旧を願うばかりです。今後このような事態を想定し、気象災害に負けない産地としての取組も必要であると思います。

市民の皆さまには、より一層市政を身近に感じていただけますよう、親しみやすく開かれた議会を目指します。

編集委員 齋藤 育子